

次世代育成支援スポーツ事業 高野進陸上競技教室 を開催



未来のトップアスリートをめざす総勢270人の選手たち



「普段から正しい姿勢を心がけることが大切」と高野氏。まずは基本の姿勢から、そして実技へと、自らの理論を交えながら分かりやすく教えてくれました。

次代を担う若者の育成を目的に実施している「次世代育成支援スポーツ事業」に、東海大学助教授の高野進氏を講師に迎え、「高野進陸上競技教室」を3月26日に開催しました。

これは東海大学と西条市の「教育・研究交流協定」締結を記念して開催されたもので、市内外から約270人の小・中・高校生が参加しました。教室には、世界陸上競技選手権パリ大会（2003年）の200㍓等に出場した宮崎

久選手（東海大OB）も参加。子どもたちは高野氏が指導している末續慎吾選手（200㍓日本記録・アジア記録保持者）や宮崎選手が取り組んでいるトレーニングと同じ、世界トップレベルのコーチを実技と講義を交えて受けていました。

市では東海大学に所属するトップアスリートによるスポーツ教室をはじめ、教育・研究のさまざまな分野で、東海大学との交流を積極的に推進していきたいと考えています。

<講師略歴>

高野進（たかのすすむ）氏

1961年5月21日生まれ。静岡県富士宮市出身。陸上400㍓にてロサンゼルス・ソウル・バルセロナと3回のオリンピックに出場。92年バルセロナオリンピックでは、60年ぶりに陸上短距離で決勝進出という偉業を成し遂げた。現在は、東海大学体育学部助教授、日本スプリント学会会長などとして後進の指導にあたっている。

400㍓日本記録保持者（44秒78）



参加した子どもたちの声

教室終了後、皆さんから感想をいただきました。

※所属学校名は開催日当日（3月26日）のものです。

●工藤豪平さん（西条東中学校）

日本を背負っているトップアスリートがやっていること、やろうとしていることを、僕が今していると思うと、うれしくなりました。今日の練習によって、なんだか自分に自信がもててよかったです。

●押田典子さん（西条北中学校）

最新の技術を知ることにより、陸上への思いが大きくなりました。2017年に愛媛で国体が開催されることに、とても興味をもっています。学んだことを練習に取り入れ、国体出場を目標に頑張ります。

●真鍋磨央さん（小松中学校）

基本運動について細かく教えていただき、自分のフォームの修正にととてもためになりました。今年は中学最後のシーズンなので、この冬に積み上げてきた走りこみ、筋トレでつけた筋肉を爆発させたいと思っています。

●木原郁弥さん（東予東中学校）

目標は100㍓で11秒台を出すことです。陸上競技教室でいろいろなことを学び、今まで以上に陸上を頑張ってみようという気持ちになりました。

●田坂菜々美さん（神拝小学校）

スタートダッシュにも、いろいろなやり方があったことが分かりました。詳しく教えてくださって、ありがとうございました。また、もっと速く走るコツなどを詳しく教えてください！